

## 第2学年3組 国語科学習指導案（略案）

平成30年9月20日（木）

場 所 2年3組教室

指導者 教諭 後藤 健征

### 1 単元名 詩を読もう「おおきくなあれ」（坂田寛雄）

### 2 本時の学習

#### (1) 目標

詩を音読したり，比べて考えたりする活動を通して，詩の技法に気付き，それを生かして読むことができる。【読むこと】

#### (2) 展開

過程	時間	学 習 活 動 T発問，指示 C児童の反応	・指導上の留意点 ◇評価	備考
導 入	5	<p>T 詩と一緒に読みましょう。</p> <p>C (音読練習・個人，ペアなど)</p> <p>T この詩を読んで，あなたはどんなことを思いましたか。</p> <p>C おいしそう。音が面白い。</p> <p>C すぐ覚えられそう。</p> <p>T 実は，この詩には続きがあります。先生は自分で書いてみました。</p>	<p>・ 第二連まで掲示し，音読する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: small; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: left;">あか おも ぷる ぷる リン ゴに は い れ</div> <div style="text-align: left;">あめ の つ ぶ つ ぶ</div> <div style="text-align: left;">あま く な れ</div> <div style="text-align: left;">おも く な れ</div> <div style="text-align: left;">ぷる ん ぷる ん ち ゆる ん</div> <div style="text-align: left;">ぷる ん ぷる ん ち ゆる ん</div> <div style="text-align: left;">あ ま く な れ</div> <div style="text-align: left;">おも く な れ</div> <div style="text-align: left;">ぷる ん ぷる ん ち ゆる ん</div> <div style="text-align: left;">ぷる ん ぷる ん ち ゆる ん</div> </div>	掲 示
展 開	20	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">めあて 先生の書いた詩をもっとよくしよう。</p> <p>T 先生が書いた詩で，気になるところはどこですか。</p> <p>C 「ぷるんぷるんちゆるん」が一回しか書いてないので，二回書いたほうがいいです。</p> <p>C 「パイナップル」は長いので，「パイン」にしたら短くなります。</p> <p>T みなさんが見つけたのは，詩の工夫（技法）です。できましたね。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: small; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: left;">お い し く な れ</div> <div style="text-align: left;">おも く な れ</div> <div style="text-align: left;">ぷる ん ぷる ん ち ゆる ん</div> <div style="text-align: left;">プ イ ナ ツ プ ル に</div> <div style="text-align: left;">あ め の つ ぶ つ ぶ</div> <div style="text-align: left;">は い れ</div> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教師が出した詩を推敲しながら，詩の技法を確認していく。</li> <li>・ 「繰り返し」と「文字数」の二つの技法については必ず確認する。</li> </ul>	ワ ー ク シ ー ト
		<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">まとめ くりかえしの言葉を書いたり，文字の数をそろえたりするとよい。</p>		
	15	<p>T では，みなさんも自分で書いてみましょう。好きな言葉をいれていいですよ。</p> <p>C (実作・発表)</p> <p>C みんなの詩も面白いなあ。</p> <p>C 自分で書くことができました。</p>	<p>◇ 詩の技法を踏まえて詩を書いたり，表現に気を付けて音読したりすることができる。【読むこと】</p>	
ま と め	5	<p>T さて，坂田さんはこんな続きを書きました。読んでどう思いますか。</p> <p>C 言葉が変わっているから面白いです。</p> <p>C 「ぼくたちも」だから，すごい。</p> <p>C 詩は面白いと思いました。</p> <p>C 今日の学習をして，他の詩も読んでみたいなと思いました。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: small; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: left;">ぼ く た ち も</div> <div style="text-align: left;">おも く な れ</div> <div style="text-align: left;">ぷる ん ぷる ん ち ゆる ん</div> <div style="text-align: left;">ぷる ん ぷる ん ち ゆる ん</div> <div style="text-align: left;">お な か に は い れ</div> <div style="text-align: left;">あ き の く だ も の</div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第三連を提示し，テーマについての考えや感想を自由に交流し，詩への興味・関心を高める。</li> </ul>